



令和4年度 青森県老人クラブ連合会 創立60周年記念式典・芸能発表大会

コロナ禍で規模縮小し開催

令和4年度 青森県老人クラブ連合会主催 創立60周年 記念式典と芸能発表大会は、10月7日(金) 10時より、リンクステーション青森で開催した。

藤崎町老連からは、表彰者(3団体と個人9名)町老連役員(5名) 合計17名が出席した。

当日は、町の福祉バスを利用して、両老人福祉センターで乗車、予定通り8時30分出発した。

昨日、岩木山と八甲田山で平年より2週間程早く初冠雪が観測された。朝の気温が6度で肌寒く、出席者は「昨日まで半袖、今日は長袖」「扇風機からストーブになった」「さむいさむい」と挨拶を交わしていた。

バスが発車して、会長が今日のプログラムを配布して日程など説明した。リンクステーション青森に9時30分到着、記念撮影の後会場入りした。

開会の言葉 県老連副会長 上山 キエ

ただ今から令和4年度県老連創立60周年記念式典並びに、県老連芸能発表大会を開催いたします。

主催者挨拶 県老連会長 斎藤 昇一

県老連が昭和37年9月に設立され、今年で60周年を迎えることになりました。これもひとえに歴代会長はじめ役員と会員皆様のご尽力とご協力の賜ものと、敬意を表する次第でございます。本日受賞されます皆様方には、たゆまぬ努力と精進に対し、敬意と感謝を表すると共に、今後ますますのご活躍を祈念申し上げます。本日の芸能発表大会は、3年ぶりに開催いたします。練習の成果を十分に発揮して下さい。お互いに睦みあい助け合い互いに支え合い、

時代を超えて若者とも交流し、地域の絆を深める場所が老人クラブです。市町村老人クラブ連合会の皆様の一層のご健勝と更なるご活躍をご祈念いたしまして挨拶いたします。本日は誠にありがとうございます。

表彰

町老連関係では、下記の通り3団体・9個人の方々が表彰されました。

発 行 者

藤崎町老人クラブ連合会

広報委員会

藤崎老人福祉センター内

電話 七五―三三三二

松 茸

季節：秋



が表彰されました。誠にありがとうございます。

☆県老連優良老人クラブ賞

。矢沢長寿会

(清野草名義会長)

。館川シニア倶楽部 (木村トモ子会長)

。常盤養命会 (三上一 会長)

☆県老連個人功労賞

。木村美智子 (町老連副会長)

。神 昭子 (町老連副会長)

。佐々木了子 (町老連監事)

。竹嶋 逞子 (仲町登喜和会長)

。田澤 順子 (曲新田健老会長)

。坂岡 明 (榊壮寿会第2会長)

。相坂ナツエ (白子高砂会長)

。白戸 治 (東町シニアクラブ会長)

☆特別感謝

。館山 新一 (県老連監事・藤崎町老連会長)

祝 辞

青森県知事 三村申吾

(代読 高齢福祉保健課長)

本日は、県老連60周年記念式典及び芸能発表大会が、このように盛会裡に開催されましたことをお慶び申し上げます。日頃から子ども達の見守りや、健康づくり、世代間交流・地域を豊かにする社会活動や地域の福祉を推進しておられます。人と人・人と社会・住民一人ひとりの暮らと地域と共に創っていく社会の実現を目指している老人クラブです。皆様は、日頃から生活を豊かにする知識や経験を生かした社会活動に取り組んでいられます。

創立60年と永きに亘り地域を基盤とした仲間づくりを通して、生きがいと健康づくりの諸団体と共同しての社会活動に取り組んできたことに敬意を表します。

続いて、県社会福祉協議会長 高杉金之助氏と県共同募金会長 元木篤子氏が祝辞を述べた。

特別出演

「津軽の響き」 津軽三味線奏者 山上 進

三味線で縄文の曲・尺八で「ふるさと」など熱演の中で「若さの秘訣は、いつも挑戦すること」と述べられた。

芸能発表大会

郡市代表による舞踊など14演目の発表があった。(中南地区からは大鰐町の熊野虎蔵氏が舞踊を披露した) 閉会 12時40分予定通り全日程が終了した。 帰路 “たか久”で昼食を摂り、浪岡のアップルヒルズで休憩し、15時30分に到着した。



熊野虎蔵氏(大鰐町) 中南地区の代表で出演、メリハリのある華麗な踊りで、会場を沸かせた。



山上 進氏 三味線演奏ばかりで無く、横笛と太鼓を同時に演奏し喝采をうけた。



表彰を受けた代表者の方々

マイナンバーカードを取得しましょう

10月13日(木)にデジタル庁が二〇二四年の後半から「マイナンバーカードに「健康保険者証」の機能を持たせ、現行の健康保険者証は廃止すると発表された。(まだ、決定していない)

現在「マイナンバーカード取得キャンペーン」が

行なわれ、町では、マイナンバーカード取得をすすめています。

令和4年12月末までにマイナンバーカードを申請し、令和5年2月末までにポイント取得の手続きすれば、二万円分のマイナポイントをもらえます。

この機会にマイナンバーカードを取得しませんか。

藤崎町では、マイナンバーカードの申請と受領について、次のとおり対応します。

◎休日対応を行います

○11月19日(土) 午前9時～午後2時

○11月26日(土) 午前9時～正午

☆場 所 役場住民課住民係窓口

※事前に電話でご予約ください。但し、11月19日は予約不要です。

◎平日の窓口延長を行います

10月19日(水)以降の毎週水曜日と木曜日は、午前8時15分～午後7時まで、窓口対応します。(祝日は除く)

※申請の場合は事前に電話でご予約ください。受領の場合は予約不要です。

◎出張申請サポートを行います

○11月12日(土)午前9時～午前11時30分

○11月17日(木)午前9時～午前11時30分

イオン藤崎店 2階 常盤老人福祉センター

※マイナンバーカードは役場住民課での受取となります。

◎共通事項

☆申請時の準備物

QRコード付き交付申請書(ない場合は不要) 運転免許証などの本人確認書類

☆お問合せ 住民課住民係 TEL 88―八六三

11月 月 行 事 予 定 表			
日	曜	行 事	時刻
1	火	日本舞踊部	12:00
		囲碁・将棋部	12:30
2	水	老連役員会	10:00
3	木	文化の日	
4	金		
5	土		
6	日		
7	月	芸能部	12:00
		全老連創立 60 周年式典 (東京)	
8	火	日本舞踊部	12:00
		囲碁・将棋部	12:30
9	水	茶道部	13:00
10	木	囲碁・将棋部	12:30
11	金		
12	土		
13	日		
14	月	生け花部	10:30
		芸能部	12:00
15	火	日本舞踊部	12:00
16	水		
17	木	囲碁・将棋部	12:30
		レクダンス部	13:00
18	金	広報委員会	13:30
19	土	秋祭り	
20	日	秋祭り	
21	月	芸能部	12:00
22	火	囲碁・将棋部	12:30
23	水	勤労感謝の日	
24	木	囲碁・将棋部	12:30
25	金		
26	土		
27	日		
28	月	芸能部	12:00
		【白寿】配布日	9時以降
29	火	囲碁・将棋部	12:30
30	水	茶道部	13:00

先輩に学ぶ (29)
旧藤崎町老連文集「白寿」から
第三号 昭和59年度 (16)

歌謡集の作成

船場 小笠原銀三

私は古希の記念事業として自分の知っている歌の歌詞を書くことにした。即ち歌謡集を作成することにした。私は若い時に、青森・岩手・宮城の三県にまたがって、四十年間も歩いたので、地元集落の唄もかなり聞いた。四十曲ぐらいは知っているだろうと思って、知っている歌の歌詞を書いていった。すると一年目の昭和五十六年の終わりには、何と百曲も越えたので本当にびっくりした。

ラジオやテレビなどで聞いた歌の中で知っている歌があればそれを聞いて書いた。そして二年目の五十七年の終わりには百八十曲位になった。三年目の五十八年になって書こうとした処、何だか前に書いたような気がしたのでよく調べてみると、やはり書いてあった。そこで、重複を簡単に防ぐ方法を考えることにした。歌謡集の一番前に「見出し表」を作ることにした。見出し表には五十音順に題名を書いて通し番号をつける。歌集の本文は、番号と題名を書き、次に歌詞を書くことにした。歌詞を書く場合に、まず見出し表に書かれていない場合に、始めて見出し表に番号と題名を書くことにした。

年度の終わりには、二百五十曲、五十九年には十月末で三百六曲になった。

三百六曲も歌を覚えていゐるなんて信用されないと言う人がいるかも知れないので、参考までに「ア」の部に書いた題名を発表しよう。

- ①「愛国行進曲」
- ②「会津磐梯山節」
- ③「アカシヤの雨」
- ④「憧れのハワイ航路」
- ⑤「秋田長持唄」
- ⑥「明日はお立ちか」
- ⑦「愛しちゃったのよ」
- ⑧「あなた一筋」
- ⑨「赤城の子守唄」
- ⑩「赤いグラス」
- ⑪「あきたオバコ節」
- ⑫「愛の終着駅」
- ⑬「鰯ヶ沢甚句」
- ⑭「赤いランプの終列車」
- ⑮「秋田小原節」
- ⑯「アンコ椿は恋の花」
- ⑰「秋田舟方節」
- ⑱「愛染かつら」
- ⑲「雨のブルース」
- ⑳「青い山脈」

㉑「あだ情」

㉒「秋田音頭」

㉓「哀愁列車」以上二十三曲です。これで大体どの位の曲を書いたか想像がつくと思う。

これまで書いた三百六曲の中で私の最も好きな唄は「日本一の唄」だ。この唄は私が従軍して、中国の上海にある師団司令部に勤務していた時に、昭和二十年十月、終戦後の兵隊に仕事がなくなったので、私の所属している勝師団と隣の鳶師団が各15名ずつ選出し、師団対抗の演芸会が開催された。その時、勝師団から出演した15名の中に、私の友人の秋田県大館市出身の日景上等兵がおり、この「日本一の唄」を歌って入賞した。この唄は、その時始めて聞いた唄ですが、ちよつと珍しく歌詞の中に浪曲が入って面白いので、早速、日景上等兵に歌詞を書いてもらった。今でも時々退屈な時にこの唄を歌っている。先般、町老人クラブの大会(当時は芸能部が主催)の時に、老人福祉センターで、私がこの日本一の唄の六番と十番の二つだけ歌った。この日本一の唄は、数え唄で日本一の男を十人並べて歌うのです。本当は、音頭をとる人と、歌う人と二人ひと組で歌うのですが、日景上等兵はひとり二役で歌っていた。日本一の唄の歌詞は次の通りです。

「音頭取り」が最初の部分を歌うと「歌い手」が次の様に歌います。

一番「ハアでは一つとセーエーエーハイ」

人々見上げる楠木がアーアー 忠義の二字は四十七士 君に忠義は楠木親子が 日本一ダアネ

二番「ハアでは二つとセーエーエーハイ」

富士の裾野の狩倉にイーイー 十八年が 雨つ風敵討ちでは蘇我の兄弟 日本一ダアネ

三番「ハアでは三つとセーエーエーハイ」

醜い姿の不具でもーオーオ 馬術で名前を残せしは 愛宕の山は男坂 馬にて乗り上げ乗り下り馬術で名前を残した曲垣平九郎 日本一ダアネ

四番「ハアでは四つとセーエーエーハイ」

夜は笛吹く按摩でもーオーオ 医学で名前を残せしは 世は逆さまの竹の杖 木綿着物に小倉の帯 按摩安腹もみ療治 下手で未熟でその値は高いぞと どつと末となるなれば 出雲に丹波

の神を向うに立てて お医者問答いたしたる お医者仲間では数居玄医が 日本一ダアネ

五番「ハアでは五つとセーエーエーハイ」

色よく分かれた甚五郎がアーアー 刻みし彫刻

動きだし 大工仲間で左甚五郎 日本一ダアネ

六番「ハアでは六つとセーエーエーハイ」

無理な仕置きとねめつけてーエーエ 可愛や五郎市差しあげて 石川やアーア 浜の真砂はつきるとも 世に盗人の種はつきまじーと辞世残した泥棒仲間で 石川五右衛門が 日本一ダアネ

七番「ハアでは七つとセーエーエーハイ」

難波戦記で名も高いイー 関東百万騎を驚かし 軍士仲間 で 真田親子は 日本一ダアネ

八番「ハアでは八つとセーエーエーハイ」

やさしい姿の徳川天坊ーオー こいつ又怪しとねめつけれアー 奉行仲間で大岡越前が 日本一ダアネ

九番「ハアでは九つとセーエーエーハイ」

子分もつれずに唯一人 水野の屋敷に乗り込んで 五尺の身体六尺にして 鯉の意気地となぞらえた 俠客仲間 で 幡随院長兵衛が 日本一ダアネ

十番「ハアでは十とセーエーエーハイ」

時は大正元年のーオーオー 薨去ませしその時に「御跡したいて我は行くなアリ」と辞世残した 將軍仲間 で 乃木の大將が 日本一ダアネ

以上ですが、この唄の中に浪曲が、ちよこちよこ歌われているのが、なかなか面白いと思う。

先日、私の友人にこの歌謡集の事を話したら、ぜひ見せてくれと言われたので見せた。そしたら「日本一の唄」の歌詞がとても良くて好きだから歌って教えてくれと言うことでした。

我々高齢者は、これから農作業が終わると退屈な日々が続くから、自分の覚えていゐる歌を書いて歌謡集を作ってみませんか。

忘年会や新年宴会などに歌謡集を持って行って、それを見ながら楽しく歌いたいですね。老人クラブの芸能部の会合が毎月開催されているが、この芸能部の会合に、私も参加して皆と一緒にガリバンで刷った「日本一の唄」を歌ってみたいと思っている。皆さんも暇をみて自分の知っている歌を書いてみませんか。

◆休載のお知らせ

「古文書に学ぶ」百姓往来絵紗は、紙面スペースの関係で休載します。なお「百姓往来絵紗」の23回目は、12月号で最終回となります。

◆歯なしの話 128 ◆

五十年と二百号

佐藤 透

沖縄返還五十年と言うことで、テレビはその話題で持ちきりである。

五十年前に大学の教室の一隅で何人かの同級生が沖縄返還の事で盛り上がっていた。同級生の中に、数人の沖縄県出身者が居たのでお祝いを述べていたのである。その後、その中の一人が同じ医局に入局したので、いろいろな苦労話やら自然の美しさやまた風習の事などいろいろ教えてもらった。

縁なのであろうか。彼の結婚式も含めて、何度か沖縄へ出向いた。あれから五十年と言うことで、感慨深いものである。

さて【白寿】二百号の方は東奥日報を見ていたら、五月分の発行で二百号を迎えたそう少々びっくりしている。二〇〇五年より17年間にわたり数々の事を伝えてきており、会員の中には【白寿】の発行日を楽しみにしている方も多い。途中から前老連会長の高木尚先生や現老連会長の舘山新一さん達に励まされ私が新聞に参加出来たことは、今に思えば嬉しい限りである。編集に携わる大川雄弘氏などには私の文章が稚拙であったり、構成が不備であったりで御苦労をおかけして冷や汗ものであった。

まずは五十年も二百号も大変におめでたいことであり、これからも出来得る限り【白寿】が続くことを心より願うばかりである。

◆短歌◆

竹棒をはだしでのぼる五歳の子 海野比呂子

唐まで見ゆるかその高みより 浅利 茂雄

日本語の読みを間違う巨大局 誰も語らず不正横行

新刊の並んだ平台時の顔 藤村みち女

ページめくりて時や忘るる 清水稼志男

重くなる木箱收穫せしりんご

継ぐ子無き老い離農せし友